

ライフステージに応じた健康づくりのための食育の推進

ココロを育む

共食の推進

- ◆ 食を通じたコミュニケーションの実践を推進します
- ◆ 人と一緒に食事をする意識の向上を図ります

食に対する感謝の心を持ち、食への関心と理解を深める

- ◆ 食を通じたコミュニケーションの実践を推進します
- ◆ 人と一緒に食事をする意識の向上を図ります
- ◆ 食のマナーの習得を推進します

望ましい食習慣の形成とバランスのとれた食事の実践

- ◆ 「早寝 早起き 朝ごはん」の実践を推進します
- ◆ 規則正しい食生活を推進します
- ◆ バランスの良い食事の知識習得と実践を推進します
- ◆ 自ら料理ができる力の習得を推進します

年齢や健康状態に応じた食に関する指導の充実

- ◆ 年齢やライフサイクルに応じた食育を推進します
- ◆ 食育に関連した学習機会の提供や情報を発信します

カラダを育む

草津の食文化継承と安全・安心な

食環境づくりのための食育の推進

食文化の継承と地産地消の推進

- ◆ 郷土料理や行事食の継承を推進します
- ◆ 生産者による食育の推進と生産者・消費者の交流を推進します

地域を育む

食育推進運動の展開

- ◆ 食育推進にかかるボランティアの育成を推進します
- ◆ 地域における食育推進活動を推進します

安全安心な食環境の推進

- ◆ 食品の安全・安心に関する知識の習得を図ります
- ◆ 生産者・食品関連事業者による食品表示を促進します

環境への意識を高める

- ◆ 環境こだわり農産物を推進します
- ◆ 環境に配慮した食生活を促進します

生活を育む

『ココロ豊かにカラダ元気に
食で育む笑顔があふれるまち草津』

「周知」から「実践」へ

を目指して



食育ネットワーク

市民・家庭の役割

食育を実施する主体として生涯にわたって積極的に取り組み、食への関心を高め、食への興味や感謝の心、適切な食を選択する力を育みます。

教育機関の役割

子どもや保護者に対して、発育・発達段階に応じて積極的に食育を推進し、子どもが食の大切さや楽しさを学べるよう取り組みます。

地域の役割

様々な関係団体等と連携し、食文化の継承や世代間の交流を通じた食育の推進を行います。ボランティア団体は地域に根ざした食育推進活動を進めます。

生産者・事業者の役割

生産者は、消費者との交流の場を積極的に持ち、食物に対する理解を促します。事業者は地産地消の推進や食の安全安心に対する取り組み、労働者の健康管理を実施します。

保健・医療関係者の役割

医師会、歯科医師会、栄養士会等の専門的知識を有する団体や個人は、生活習慣病予防や改善のための知識普及などライフステージに応じた食と健康に関する指導を実施します。

行政の役割

食育に関する市民団体等への支援に努め、食育を市民主体の運動として推進します。あらゆる食育関係団体と連携を図りながら、総合的な食育の推進を実施します。

【数値目標】

基本方針	目標項目	現状	目標	
ココロを育む	一人で食事をする人の割合	朝食 12～14 歳	10.7%	減少
		朝食 15～19 歳	25.6%	
		夕食 12～14 歳	0.0%	現状維持
		夕食 15～19 歳	5.0%	減少
	食育に関心がある人の割合	67.4%	90%	
カラダを育む	朝食を欠食する人の割合	小5	2.1%	0%
		中2	3.3%	0%
		高2	11.3%	5%
		20 歳代男性	30.8%	18%
		30 歳代男性	25.0%	19%
	バランスのとれた食事に 気をつけている人の割合	20 歳代男性	23.1%	36%
		20 歳代女性	40.0%	64%
		30 歳代男性	33.0%	44%
		30 歳代女性	58.7%	67%
		40 歳代男性	37.0%	52%
	40 歳代女性	51.2%	55%	
	食生活上、かむことに満足している人の割合 60 歳	54.5%	65%	
	肥満者の割合	男性(20～69 歳)	19.5%	17%
		女性(40～69 歳)	18.0%	15%
	やせの人の割合	女性(15～19 歳)	20.0%	10%
		女性(20～29 歳)	30.9%	19%
	総エネルギー量に対する 脂質のエネルギー比率	男性(20～29 歳)	30.1%	30%未満
女性(20～29 歳)		31.5%		
男性(30～59 歳)		27.0%	25%未満	
女性(30～59 歳)		28.8%		
野菜の平均摂取量	成人	258.0g/日	350g	
食塩の平均摂取量	成人	10.0g/日	8.0g	
果物の摂取量が 100g 未満の者の割合	成人	66.9%	34%	
地域を育む	学校給食における地場産物を使用する割合(食材数ベース)	31.8%	増加	
	地場産物を購入するよう心がけている人の割合	58.7%	70%	
	健康推進員の人数	180 人	266 人	
	健康推進員による食育に特化した 地域食育推進事業の参加者数	食育に特化した 事業は未実施	約 2,000 人	
生活を育む	栄養成分表示を参考に する人の割合	男性	24.5%	増加
		女性	47.5%	
	外食栄養成分表示をしている店舗数	3 店舗	増加	
	環境こだわり農産物の栽培面積	221.6ha	276ha	
	学校給食の 1 日あたりの平均残渣率	約 12%	残さず食べる 事による減少	

概要版 (案) 第2次草津市食育推進計画 (平成26年度～29年度)

草津市では、「周知」から「実践」へ生涯にわたって中断のない食育を推進するため「第2次草津市食育推進計画」を策定しました。

◎ 基本理念

ココロ豊かにカラダ元気に 食で育む笑顔があふれるまち草津

◎ 趣旨

市民一人ひとりが食育を通じて、食に関する知識と食を選択する力を身につけ、健全な食生活を実践することにより、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育み、笑顔があふれるまち草津を目指します。

◎ 基本的な方向

基本理念の実現を目指し、「ライフステージに応じた健康づくりのための食育の推進」と「草津の食文化継承と安全・安心な食環境づくりのための食育の推進」を図るため、4つの基本方針を定めます。

1 ココロを育む

～食の楽しさや感謝を実感し、豊かな心を形成します～

2 カラダを育む

～生活習慣病の予防や子どもの成長・発達を促進するなど健康の維持・増進をはかります～

3 地域を育む

～地産地消・食文化の継承や生産者と消費者の交流を促し、地域における食育を推進します～

4 生活を育む

～市民が安全で安心な食生活を送れるよう意識の向上を促します～

◎ 重点施策

第1次計画の課題と評価、草津市の健康をめぐる現状から、本計画期間に重点的に取り組む2つの重点施策を定めました。

ライフステージに応じた健康づくりのための食育の推進

次世代を担う子どもが“健康な命を育む食”への関心と理解を深めます

草津の食文化継承と安全・安心な食環境づくりのための食育の推進

草津の地場産物を知り、地産地消と食文化の継承に努めます

平成26(2014)年3月

草津市

